

65歳以上の方の交通事故が多発

行動と交通ルールを見直しましょう

園地域づくり課 ☎(235)4789



10月末現在の市内の交通事故発生件数は343件です。昨年1年間の307件を上回っています。交通事故が増える年末年始に向けて日頃の行動を確認しましょう。

交通事故の3件に1件は65歳以上の方が関わっています

令和2年度の県の交通事故発生件数は2万6300件。このうち65歳以上の方が関わる事故は7012件で全体の34%です。死者数は全140人中56人と、40%が65歳以上の方でした。



車を運転
つづるよき

顔全体を左右に向けて確認を

視力の低下や視野狭窄があると、歩行者などを見落とす可能性が高まります。目線だけでなく顔全体を左右に向けて確認しましょう。一度確認しても「歩行者がまだいるかも」と予測することが大切です。



自転車を運転
つづるよき

車の運転と同じ気持ちで

自転車は車両です。車道の左側を通行しましょう。横断歩道では歩行者の安全に注意し、歩行者用信号機に従って通行してください。70歳以上の方は歩道を通行できます。歩行者に気を付けて運転しましょう。



道を歩いて
つづるよき

安全なタイミングを待って渡る



道路を渡るときは遠回りでも必ず横断歩道を渡りましょう。「まだ大丈夫」車が止まってくれるはず」などの思い込みで横断歩道を渡り始めるのは危険です。見えている車が通り過ぎるまで待ち、安全確認ができてから渡りましょう。

夜間は慣れた道でも慎重に

高齢者の事故の多くは自宅近くで発生しています。慣れた道でも昼間に見えていた物が夜間では見えなくなる場合があります。自身の存在を示すため、反射材やLEDライトを身に着けることもお勧めです。夜間の横断歩道では車が完全に途切れてから渡ることを心掛けましょう。

視覚を使って判断を

加齢で聴覚が衰えると車の走行音に気付くことが困難になり、危険を察知しづらくなります。危険の有無を音だけで判断せず、周囲の状況にも目を配り身の安全を守りましょう。

12月11日~20日 年末の交通事故防止運動を実施

「無事故で年末 笑顔で新年」をスローガンに、次の4点を重点的に行います。年末は交通量や飲酒の機会が多くなります。交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

- ① 飲酒運転の根絶
- ② 歩行者(特に高齢者)と自転車の交通事故防止
- ③ 全席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 二輪車の交通事故防止

「にぎわい」健康がテーマ 2つの海老名四福神めぐり

「相模七福神」のうち、市内にある4カ所の「海老名四福神」を巡ります。イベントごとにテーマが異なり楽しみ方もいろいろです。

新春！海老名四福神詣りと美味いもん巡り

園商工課 ☎(235)8439

寺社や直売店に寄り道をしながら四福神を巡ります。コースの総距離は約8km。小学生以下は保護者同伴です。
 日 令和4年1月8日(土) 8時30分~12時30分(小雨決行・雨天翌日延期) 定先着30人 ①「コース」 社家駅(集合) ↓ 本覚寺 ↓ 貴日土神社 ↓ 吾妻坂 ↓ 有馬浄水場 ↓ 神戸屋海老名工場直売所 ↓ 善教寺 ↓ EXPASA海老名下り ↓ 妙元寺 ↓ 沖の坂 ↓ 東興寺 ↓ 諏訪神社 ↓ 増全寺 ↓ 海老名食品(吟味豚販売店) ↓ 厚木駅(解散) 費500円(資料代など)、中学生以下無料 ② NPO法人海老名ガイド協会・市 12月2日(木) から、氏名・住所・電話番号を、電話またはメールでNPO法人海老名ガイド協会(☎234-7876 atukui385@grace.ocn.ne.jp) <

新春の海老名四福神を歩こう

園健康推進課 ☎(235)7880



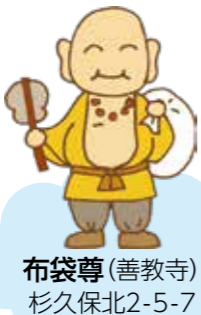
健康を意識したウォーキングで四福神を巡ります。約8kmのコースです。

日 令和4年1月19日(水) 8時45分~12時30分(雨天中止) ① 市内在住の方 定先着20人 ② 「コース」 社家駅(集合) ↓ 本覚寺 ↓ 善教寺 ↓ 妙元寺 ↓ 増全寺 ↓ 厚木駅(解散) 費無料 ③ 健康えびな普及員会 12月2日(木) から、電話で健康推進課へ

海老名四福神



毘沙門天(本覚寺) 本郷4618



布袋尊(善教寺) 杉久保北2-5-7



大黒天(妙元寺) 大谷南3-29-16



福祿寿(増全寺) 中新田2-15-36

嶋崎家住宅が 国登録有形文化財に登録

園教育総務課 ☎(235)4925

10月14日、上郷の「嶋崎家住宅主屋」が国登録有形文化財に登録されました。市内の登録有形文化財は平成30年に登録された「旧今福家住宅」と合わせて2カ所5件となりました。

嶋崎家は江戸時代から相模川の自然堤防の上に位置する上郷集落に居を構え、農業を営み、近代には村政などにも関わりました。個人宅のため公開はしていません。

「嶋崎家住宅主屋」

明治後期に建設された大型の民家で、木造の入母屋造、喰違六間取です。屋根は大正15年ごろにかやぶきから鉄板葺に改修され、現在は銅板葺です。



「嶋崎家住宅離れ」

昭和3年に増築された建物で、木造の入母屋造銅板葺です。八畳2室の続き座敷に水屋などが備わり、内装は吟味された材料で凝った意匠です。

